



みんなで取り組もう 中島防災 ヒント集

○ 平地で高いところがないので増水時には早めに逃げる

中島小学校は指定避難所ですが、洪水時には利用できなくなります。
(緊急避難先としては使えます。)

洪水時でも利用可能な最寄りの避難所は倉敷南中学校、倉敷中央高校、
旭丘小学校になります。いずれの避難所も遠いので、歩いて移動する場合にかかる時間を確認しておきましょう。

○ 田畠が多く、ガードレールがないところが多いので 水路への転落に気を付ける

中島地区は以前田畠が多かったこともあり、多くの水路があります。
道路が冠水した場合、水路や田畠との境目が分からなくなり危険です。
特に災害時の夜間は停電することもあるので、日ごろから自宅周辺の
道路水路を把握しておき、災害時には危険な道を避けて避難するように
しましょう。

○ 狹い路地が多い地区では、地震や火災の時に 落下物や倒壊物に気を付ける

狭い路地のなかには緊急車両の通行が難しいほど狭いところもあります。
また、落下物や倒壊物などで道がふさがることもあります。
道路水路の把握と同じく、う回路も把握しておきましょう。

○ 公園の無い地区、公園まで遠い地区もあるので いざというときに逃げられる広い場所を確認しておく

安全な広い場所は緊急的、あるいは一時的な避難場所となります。
また、公園は公衆トイレがあるところが多く、災害時でも日常的にも
把握しておくと便利です。
また、災害後に車が使えると非常に便利です。中島地区以外の安全な
場所に車で避難することも検討しておきましょう。

2021年
保存版

みんなで取り組もう 中島防災



例年2月に中島小学校で開催しておりました防災体験会が
新型コロナウイルスの感染症予防のため中止となりました。

代わりに、各家庭において防災に取り組んでいただけるよう
防災に関する資料を配布いたします。

今一度防災への取り組みを確認していただき、中島地区の
皆様の防災力が向上しますようみんなで取り組みましょう。

中島防災 2021年 取り組み手順

- 1、「みんなでつくろう！マイ・タイムライン」を読む
 - ・インターネットで「逃げキッド 動画」で検索するとYouTubeで見ることができます。
- 2、「みんなで取り組もう 中島防災 ヒント集」を読む
 - ・中島地区の特徴をまとめました。防災の参考にしてください。
- 3、「わが家のマイタイムライン 水害版」を作る
 - ・わが家のルール2か所と、水害時の避難先を記入しましょう。
- 4、家族で防災について話し合う
 - ・一人一人の役割分担を決めましょう。
 - ・家の中の危険個所をチェックしましょう。
 - ・非常用持ち出し品をチェックしましょう。
 - ・災害時の連絡方法や避難所を確認しましょう。
 - ・隣近所で声を掛け合い、お互いに助け合いましょう！



毎年、定期的に取り組みましょう！

中島地区

わが家のマイタイムライン・水害版

保存版

3日前
～
1日前

災害前日までの
わが家のルール

災害警戒日

災害警戒日の
わが家のルール

警戒レベル3
避難準備
高齢者は避難

警戒レベル4
避難勧告
全員避難

水害時の
避難場所

雨風が強くなる前にできることをする時期

- 台風予報や気象情報を確認する
- 薬や食料など、ないと困るものを早めに用意する
- 家族の行動予定を確認する
- 避難するときに持っていくものを準備する
- 家の周りで飛ばされそうなもの、倒れそうなもの、流されそうなものについて対策する
- 車のガソリンを満タンにする
- 避難する場所と、行き方を確認する
- 遠方に避難できる場合は移動する
- 携帯電話の充電をしておく
- 災害時伝言ダイヤル（171）の使い方を確認する

情報を確認し避難の準備を行う時期

- 気象庁や行政が発信する警戒レベルを確認する
- 通行止めや冠水など、近所の情報を確認する
- 非常持ち出しの再確認
- 車で避難をする場合は早めに出発する
- いつでも避難できるよう着替えておく

いつでも避難できるよう備える時期

- 携帯電話やテレビの情報などで災害情報を確認する
- 避難準備、避難勧告、避難指示が出ていないか確認する
- 高齢者、要配慮者は早めに避難を開始する

避難を開始し身の安全を確保する時期

- 電気のブレーカーを切る、ガスの元栓を締める
- 防犯対策として戸締りをする
- 避難したことが分かるように張り紙などをする

避難場所を決めておきましょう

移動にかかる時間

分

ものの備えをチェックしよう

常日頃から備えておくもの

- 逃げる時に必要なもの
懐中電灯（予備の電池も！）、リュックサック
- 身を守るもの
軍手、ヘルメット、ロープ、歩きやすい靴、雨具
- 体調管理、衛生用品
救急箱、ティッシュペーパー、ウェットティッシュ
トイレットペーパー、携帯トイレ
- 避難先で必要なもの
カイロ、毛布、防寒具、保温シート、着替えの服、タオル
- あつたら便利なもの
ろうそく、ライター、カセットコンロ、ガスボンベ、
ゴミ袋、大型ポリ袋、ガムテープ
- 備蓄しておくもの
長期保存ができる食べ物、飲料水



- 消耗品は常に備蓄し、なくなる前に買う
- 道具は、使えるかどうかを定期的にチェックする



災害が来る前に準備するもの

- 食料品、食事用品
飲料水、ご飯類、缶詰、菓子類、レトルト食品
加熱せずに食べられるもの、調味料、栄養補助食品
紙皿、はし、食品用ラップ、アルミホイル、缶切り、ナイフ
- 医薬品、衛生用品
持病の薬、常備薬、お薬手帳、生理用品、乳幼児用品
予備のメガネ、コンタクトレンズ、歯みがき、洗面用具、
マスク、体温計、アルコール消毒液
- 貴重品
現金、健康保険証、印鑑、貯金通帳、身分証明書
- 情報を得るもの、文具類
筆記用具（油性ペンなど）、ハサミ、カッター、ラジオ
スマホ・携帯（充電）、携帯用充電器、予備バッテリー
緊急連絡先のメモ
- 生活用品
着替えの服、生活用水をためる
- 家族にとって、大事なもの
思い出の写真、お気に入りのおもちゃ、など



急な災害に備えて
ある程度備蓄しておこう！

- 日常的に使っているものを、避難前にそろえるようにする
- 自分や家族にとって、ないと困るものを確認しておく

